

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和6年10月24日

作成担当部署 登米市産業経済部観光物産戦略課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社 とよま振興公社

代表者名 代表取締役 鎌田智之

所在地 宮城県登米市登米町寺池桜小路2番地の1

設立年月日 昭和60年12月2日（とよま玄昌石株式会社）

商号変更 平成7年12月4日（株式会社とよま振興公社）

資本金 12,000千円【登米市出資額（出資割合）5,000千円（41.67%）】

業務内容 とよま観光物産センター、春蘭亭、登米寺池城址公園、登米駒つなぎの広場、歴史資料館、高倉勝子美術館及び登米懐古館等の運営管理

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社とよま振興公社は、旧登米町の特産品であった玄昌石を活用した工芸品などを製造・販売する会社として、旧登米町と東北天然スレート工業株式会社が出資し、昭和60年12月2日に「とよま玄昌石株式会社」として設立された。

平成7年12月4日には、社名を「株式会社とよま振興公社」に変更するとともに、公共施設の管理運営受託業務を事業目的に加えるため、定款の一部変更を行い、平成9年4月から教育資料館及び春蘭亭の管理運営を開始し、平成12年8月からは、指定管理者制度による観光物産センターの管理運営を行っており、現在では、歴史資料館（教育資料館・警察資料館・水沢県庁記念館・伝統芸能伝承館）、高倉勝子美術館、観光物産センター、春蘭亭、登米懐古館、寺池城址公園、駒つなぎ広場の8施設、2公園の指定管理者として管理運営を行っている。

株式会社とよま振興公社は、管理運営する施設を通じて「みやぎの明治村」を訪れる観光客の受け皿として、登米市の観光振興の中心的な役割を果たしており、登米市における地域経済の活性化や雇用の創出に貢献している。

経営状況については、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の令和元年度以前の年間入館者数は4万人台で推移していたが、コロナウイルス禍の影響により令和2年度の年間入館者数は15,834人にまで落ち込んだ。こうした状況を反映し、令和5年度決算において約2,119万円の累積欠損金を抱えている。

登米市では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、利用料金収入等の減少を受けた株式会社とよま振興公社に対し、令和2年度に約244万円、令和3年度に約893万円を指定管理料に追加して支払い財政支援を実施したところである。

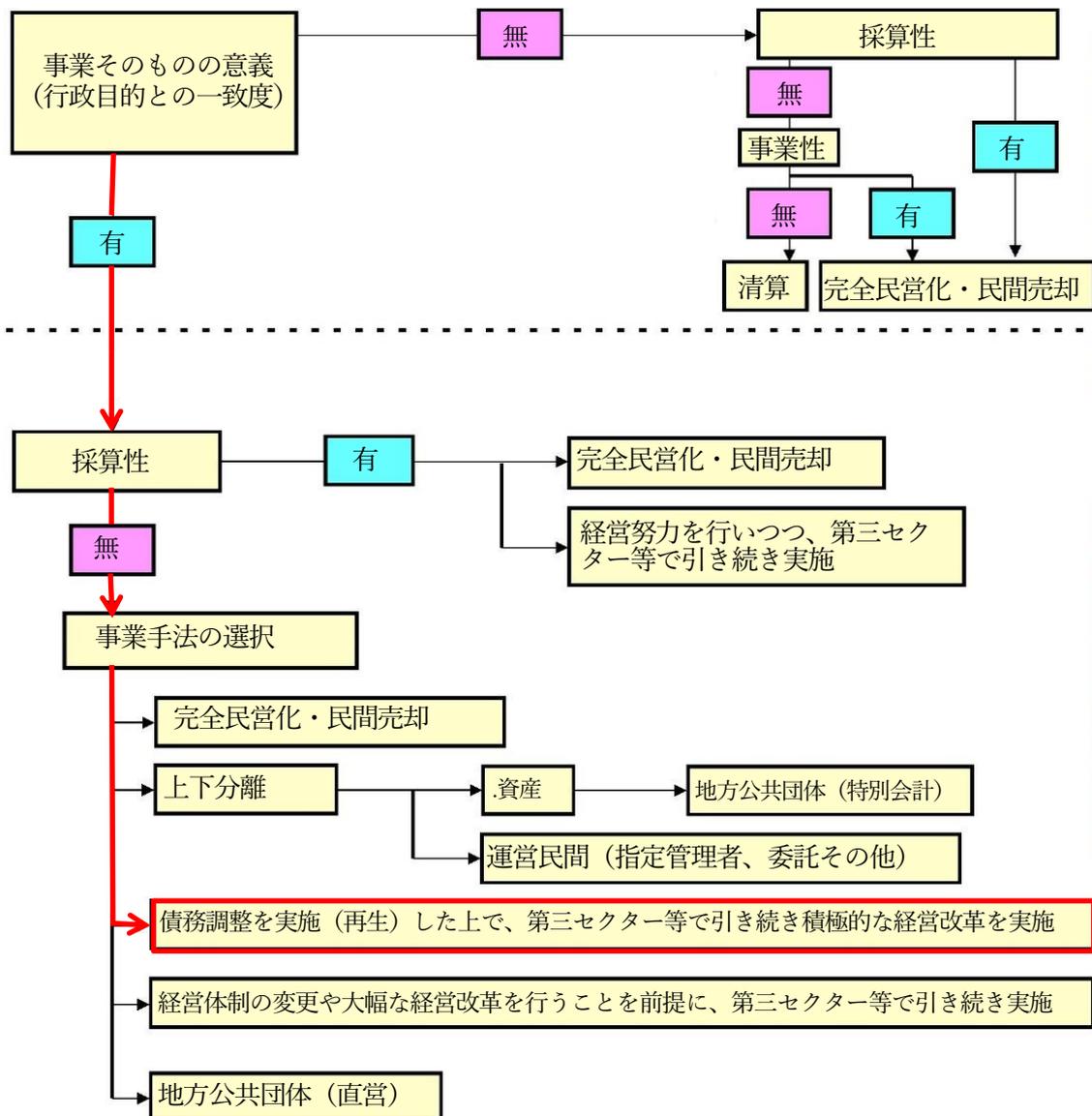
4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

株式会社とよま振興公社は、収益性や採算性が低く、民間企業の参入が難しい歴史資料館や高倉勝子美術館、登米懐古館などの指定管理を受託することで、経済を含めた地域の活性化に重要な役割を担っており、今後も事業を継続していく必要がある。

しかしながら、コロナ禍の影響があるとはいえ、多額の累積欠損金を抱えている状況にあり、持続的な経営を推進していくためには、収支バランスを意識した効率的かつ安定的な経営が求められていることから、抜本的改革として、累積欠損金を早期に解消し、経営安定を図った上で、完全民営化へ移行するなど検討していくこととする。

【抜本的改革を含む経営健全化の取り組みに係る検討のフローチャート】

(「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」平成26年8月5日付 自治財政局長通知別紙2より)



(注) 「採算性」について

採算性の判断に当たっては、「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」(平成26年

8月5日付 自治財政局長通知別紙) 第3の2 (2) ②イに該当するものとして判断している。

(以下「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」第3の2より抜粋)

(2) 第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化について、地方公共団体は、別紙フローチャートの手順により検討を行うことが適当である。

なお、フローチャート中の「採算性」の判断に当たって、以下の基準に該当する第三セクター等については、原則として採算性が無いものと判断することが適当である。

②損失補償を行っていない第三セクター等（地方道路公社及び土地開発公社を除く。）で、次のいずれかに該当するもの。

イ 債務超過であるもの。含み損のある資産を保有している場合はそれを反映の上、判断すること。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

第三セクターの経営は、原則として自助努力により行われるべきであることから、登米市としては、経営健全化のために法人が自発的に実施する以下の改善方針・具体的な対応などについて、出資割合の範囲内において、適切な助言・指導等を実施し、支援していくこととする。

5-1 改善方針

登米市登米地区は、歴史的文化的価値の高い施設が多く点在し、観光客が多く訪れている。

東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の影響、旅行形態の変化による団体客の減少などにより、年々歴史資料館等の入館者数は減少している状況ではあるが、宮城県よろず支援拠点からの経営指導を受けるとともに、近隣ホテルや旅行会社と同調した誘客に取り組み、登米市の活性化に寄与していく。

5-2 事業計画

(1) とよま観光物産センター

市内の地域交流を推進し、登米市の郷土食や特産品、農産品を市内外にPRしながら販売力を高め登米市産業の振興に寄与し、更に地域の皆さんにも繰り返し利用して貰えるような環境や品揃えに努める。

繁盛期やイベント開催時には、利用者の利便性を考慮し営業時間を延長し対応する。

(2) 春蘭亭

お客様のニーズに応えるため定期的にメニューを見直し、季節に合わせた喫茶の提供に努める。

春蘭亭より懐古館を望む庭園を活用し、休憩用の長椅子を設置し春蘭亭喫茶のテイクアウトを行うなど、ゆっくりとくつろげる空間づくりに努める。

(3) 歴史資料館、高倉勝子美術館及び登米懐古館

南三陸・気仙沼の観光ホテルに働きかけ、宿泊者向け送迎バスでの立寄りを依頼。利用者には入館割引券を発行し、バス到着時に施設や登米市のPRを行うなど、立寄り者の入館、近隣飲食店での食事利用を推進していく。

個人向けのプランとして「じゃらん」や「アソビュー」等利用者に入館券と春蘭亭喫茶のセットプランを販売し個人客の誘客に努める。

JTB、阪急交通社やクラブツーリズム等の大手旅行会社と観光券契約を結び、商談会等にも積極的に参加し、ツアー団体やインバウンド客の獲得を行う。

その他、近隣観光施設や宿泊施設に観光パンフレットや施設割引券を定期的に配布し利用を促す。

資料館内の展示物等の見直しや企画展を定期的で開催し、リピーター客の獲得に努めるとともに「れきこす みやぎの明治村」などのイベントを年数回開催し、コスプレイヤーの方などにスマホ等で施設の画像や情報を発信してもらうなどの試みを行う。

繁盛期やイベント開催時には、教育資料館は営業時間を延長して集客に努める。また、施設をライトアップするなどマスコミへの話題提供などを積極的に行っていく。

ラインやインスタグラムなどのSNSを活用し、企画展やイベント等の情報や今年8月に認定されたポケモンGO公式ルート「みやぎの明治村歴史散歩」を積極的に発し、ポケモンGO愛好者など新たな客層の獲得を図り、観光誘客に努める。

5-3 経営計画

(金額：千円)

区 分	令和4年度 (実績値)	令和5年度 (実績値)	令和6年度 (目標値)	令和7年度 (目標値)	令和8年度 (目標値)	令和9年度 (目標値)	令和10年度 (目標値)
経常利益等	127,284	149,967	163,730	164,930	166,430	167,930	169,430
経常費用等	135,134	153,560	163,575	164,575	165,885	166,530	167,680
当期純利益	▲7,850	▲3,593	155	355	545	1,400	1,750

※1 経常利益等・・・経常利益、営業外収入を含む。

※2 経常費用等・・・経常費用、営業外費用、法人税を含む。

【参考】 法人の財務状況

(金額:千円)

	項 目	金 額		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸借対照表より	資産総額	21,361	11,536	11,582
	(内、現預金)	(17,983)	(7,189)	(7,341)
	(内、売掛金)	(1,733)	(2,485)	(2,017)
	(内、棚卸資産)	(1,431)	(1,350)	(1,753)
	負債総額	14,113	12,137	15,776
	(内、借入金)	(0)	(0)	(0)
	純資産額	7,248	▲601	▲4,194

(金額:千円)

	項 目	金 額		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
損益計算書より	経常利益等	148,002	127,284	149,967
	経常費用等	147,111	135,134	153,560
	当期純利益	891	▲7,850	▲3,593

※1 経常利益等・・・経常利益、営業外収入を含む。

※2 経常費用等・・・経常費用、営業外費用、法人税を含む。